

ロボット工学科
2022年度以降入学生

Table with 10 columns representing semesters (1Q to 10Q) and rows for subjects like '必修科目', 'インターンシップ', 'ロボティクス&デザイン', '文獻研究', etc. Includes a '分界' row at the bottom.

博士前期課程での学位は、学士課程教育での学習成果を踏まえて、より高度な専門性とともに高い倫理性、他分野技術に対する幅広い理解を目指すカリキュラムを編成する。
「専門」は、以下に掲げる各専門分野の確かな知識を修得する。
1) 「ロボティクス分野」では、メカニクス、センシング、アクチュエーション、コントロール、シミュレーションとそれらの統合などロボティクスに関する実践的な素養を身につける。

ロボティクス&デザイン工学研究科は、実社会の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとし、本研究科博士前期課程は、工学的な知識・技術を、人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成します。
(求める人物像)
(1) ロボティクス、インターネットを核としたネットワーク技術、建築学、インテリア・プロダクトデザイン学などの専門分野はもとより、人文・社会・自然科学等其他幅広い知識・教養を基礎として、柔軟で粘り強い思考力を働かしている人

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究などを通して、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。
(1) 専門分野はもとより、人文・社会・自然科学等其他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力を働かせることができる。[幅広い知識・教養を基礎とした生涯学習を継続できる思考力]
(2) 専門分野に関する体系的な学習内容を含む知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]

社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。
(1) 社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。
(2) 社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。
(3) 社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。
(4) 社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。
(5) 社会の発展と持続可能な社会の実現に貢献する。

Table with 10 columns representing semesters (1Q to 10Q) and rows for subjects like '共通教養科目', '工学関連科目', 'ロボティクス', '電気電子系', '計測制御系', '情報系', 'ロボット系', '実験実習系'. Includes a '分界' row at the bottom.

ロボティクス&デザイン工学部
ロボティクス&デザイン工学部は、ロボットに関心をもち、工学の発展に貢献したい学生を募集します。
(1) 人文科学、自然科学、情報技術、教育、デザイン、経営、知能情報等に關する科目によって、技術者・デザイナーに求められる幅広い教養を養う。
(2) 体系的な英語教育によって、英語による基礎的コミュニケーション能力を養う。

ロボティクス工学科は、機械工学・電気電子工学・情報工学・計測制御工学など幅広い工学分野の知識・技術を横断的に融合したロボティクス・メカトロニクスと呼ばれる技術分野を学び、ものづくりの実践を通して、将来、日本の産業界への貢献などにより、人々の豊かな暮らしの実現を担う人物を育成します。
(1) ロボティクス・メカトロニクス職種の仕組みに興味があり、それらを理解するために体系的に探究したいと思う人
(2) ロボティクス・メカトロニクスに関するものづくりが好きで、機械や電気などの知識によって、これまでにない新しいものをつくりたいという夢と情熱を持っている人

※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない

【2024年度】

ロボット工学科
2017-2021年度入学生

Table with columns for 前期科目 (8, 18, 24, 12, 16, 22, 100 units) and rows for 通年, 4Q, 3Q, 2Q, 1Q. Includes a 'M2 M1' label and a '分科' row at the bottom.

博士前期課程での学位は、修士課程教育での学習成果を踏まえて、より高度な専門性とともに高い論理性、他分野技術に対する幅広い理解を目指すカリキュラムを編成する。
カリキュラムポリシー
博士前期課程での学位は、修士課程教育での学習成果を踏まえて、より高度な専門性とともに高い論理性、他分野技術に対する幅広い理解を目指すカリキュラムを編成する。
アドミッションポリシー
ロボティクス&デザイン工学研究科は、実社会の課題解決を通じた実践的な研究開発活動を柱の一つとして、本研究科博士前期課程は、工学的な知識・技術を、人間中心の観点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する高度専門職業人材を育成します。

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究などを通して、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して修了を認定し、修士(工学)の学位を授与する。
ロボティクス&デザイン工学部
(1) 専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]
(2) 専門分野に関する体系的な学習内容を包含し知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]
(3) ユーザの視点で社会などの課題に対して他者との協働により解決に取り組むことができる。[他者との協働によるユーズ視点の課題解決力]
(4) 技術者としての倫理観、使命感を醸成し、生涯に亘り学び続ける必要性を認識し、その姿勢を身につけ行動できる。[技術者としての倫理観・使命感に基づく行動力]
(5) 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション(英語によるコミュニケーション、視覚効果考慮したプレゼンテーションなどを含む)によって、自らの考えを伝え、他者の理解や共感を導き出すこととする人
(6) 自ららの首肯を現実の形とするために工学的基礎能力ならびに科学的基礎に必要となる特性を認識し、それらを用いて機構、機能を設計して、ものづくりを実現する方法を身につけ実行できる。[工学・科学の理論に基づく設計とものづくり実践]
(7) 数学、物理学を用いて論理的に現象を理解し、実験、研究などを通して専門知識を用いた問題解決能力を身につけ実行できる。[数理解の論理的な現象理解と専門知識による問題解決能力]

分科別到達目標
社会の発展と個人の幸福を実現するための知識・技術・態度を養成し、卒業後、社会で活躍できる人材を育成する。
ロボティクス&デザイン工学部
「ユーズ視点の観点からイノベーションを創出するための手法」としての「デザイン思考」を実践できること。
ロボティクス&デザイン工学部
「ユーズ視点の観点からイノベーションを創出するための手法」としての「デザイン思考」を実践できること。
ロボティクス&デザイン工学部
「ユーズ視点の観点からイノベーションを創出するための手法」としての「デザイン思考」を実践できること。

Table with columns for 前期科目 (38, 26, 3, 14, 18, 26, 22, 100 units) and rows for 通年, 4Q, 3Q, 2Q, 1Q. Includes a '分科' row at the bottom.

カリキュラムポリシー
ロボティクス&デザイン工学部
ロボティクス&デザイン工学部ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下の方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学習できる科目選択を取り入れることとし、科目選択を促すための体系的なカリキュラムを編成する。
アドミッションポリシー
ロボティクス工学科は、機械工学・電気電子工学・情報工学など幅広い工学分野の知識・技術を横断的に融合したメカトロニクスと呼ばれる技術分野を法用します。
そのために、ロボティクス工学科は、以下のような人物を求めます。
(1) メカトロニクス基礎の仕組みなどに興味があり、それらを理解するために積極的に探究したいと思う人
(2) メカトロニクスに関するものづくりが好きで、機械や電気などの知識によって、これまでになかった新しいものをつくりたいという夢と情熱を持っている人
(3) メカトロニクスに関するものづくりに必要な専門知識・専門技術を修得するために必要な物理・数学・語学などの基礎学力をしっかりと身につけて、粘り強く地道に勉学を積み重ねられる人

※付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない